



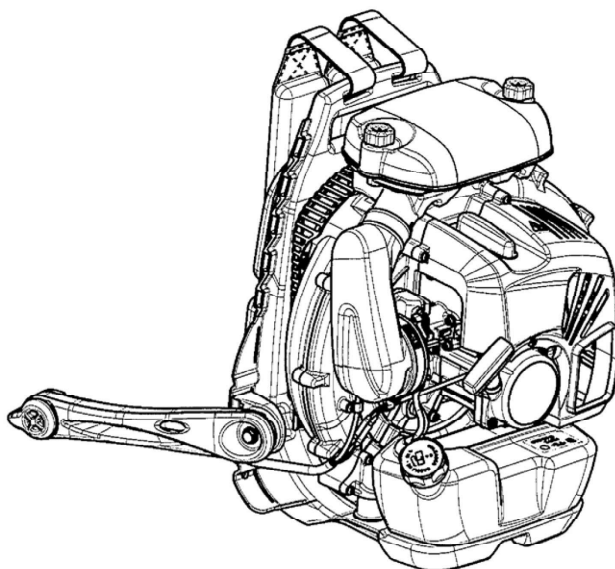
115767879 (E2/A1707)

ゼンアブロー

取扱説明書

EBZ7500

EBZ8500



※この製品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

*This product is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any country.

警告



- この取扱説明書には製品をご使用いただく上で、事故を防ぐ重要な注意事項と製品の取扱い方が示されています。この取扱説明書を良く理解した上、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 電気関係部品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

操作装置のシンボルマーク

運転操作および保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。
これらの表示に従って誤操作のないようご注意ください。

マーク表示部位	図 柄	意 味
燃料タンクキャップ		使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを表わします。
インテークカップ		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが閉じることを示します。
		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが開くことを示します。

はじめに


このたびはゼノア製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保存し、分からないことがあった時には取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。


安全 第一


本書に記載した注意事項や機械に貼られた  の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。


なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■ 注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

 **危険** : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** : 注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。

重要 : 注意事項を守らないと機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。


補足 : その他、使用上役立つ補足説明を示します。

目次


▲ 正しくお使いいただくために	1
警告ラベルとその取扱い.....	4
サービスと保証について.....	5
各部の名称.....	6
組立	
ブロワパイプの取り付け.....	7
燃料.....	8
給油.....	9
エンジンのかけかた.....	10
エンジンのとめかた.....	12
使用方法.....	12
点検整備	
定期点検.....	15
エアクリーナ.....	16
燃料フィルタ.....	16
スパークプラグ.....	17
エンジンの調整.....	17
マフラ.....	18
100時間使用毎の手入れ.....	18
吸気網.....	19
長期保管時の手入れ.....	20
故障のときは.....	21
製品主要諸元.....	22



正しくお使いいただくために

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で正しく取扱ってください。快適に作業をするため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

■ 製品をお使いになる前に

- ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、製品の機能と取扱い上の注意事項をよくご理解ください。
- このブロウは屋外の落ち葉や散乱したゴミ屑等の吹き寄せ清掃を主要途として設計されています。不測の事故を招く恐れがありますので本来の用途以外の目的には使用しないでください。
- 本製品は高速で吹き出す風力を利用するため、操作を誤ると危険です。疲労などで体調が悪い場合や、カゼ薬服用時、飲酒後など、正常な判断と的確な操作が出来ない恐れがある場合は、本製品を使用しないでください。また、本書の内容が理解できない人、妊娠している人や子供には絶対に使わせないでください。
- エンジンの排気ガスには人体に有害な一酸化炭素が含まれています。屋内やビニールハウス、トンネル内など、通気の悪い場所では本製品を使用しないでください。
- 次のような場合はお使いにならないでください。
 - ① 転倒の恐れがあるなど、製品の正常な保持・操作が困難な場合
 - ② 霧や夜間など、視界が悪く作業現場周辺の安全確認が困難な場合
 - ③ 天候悪化時(降雨、強風、雷など)
 - ④ 作業中吹き飛ばされたゴミで周囲の人や物に危害を及ぼす恐れがある場合
- 初めてお使いになる場合は、実作業に入る前に熟練者から製品の取扱い指導を受けるか、周囲に危険物のない広場等で練習し、操作に慣れてから本格作業に入るようにしてください。
- 疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせ、1回の連続作業時間は30～40分を限度とし、10～20分の休憩を取ってください。また、1日の作業時間は2時間以内としてください。
- この製品は運転中に電磁界を発生し、電磁界がペースメーカーやその他の医療器具に干渉する場合があります。重傷・致命傷のリスクを軽減するために、ペースメーカーやその他の医療器具を装着された方は、この製品を使用する前に医師またはペースメーカー・医療器具メーカーに相談してください。
- 小さいお子様の手の届くところに保管しないでください。
- この取扱説明書は必ず保管して、分らないことがあった場合など必要に応じてご参照ください。
- 本製品を譲渡または貸与する際は、この取扱説明書を必ず添付してください。



正しくお使いいただくために

■ 作業時の服装・装備

- ブロワをお使いになる際は、屋外作業にふさわしい服装を整え、作業帽、手袋、作業靴を着用してください。また、作業時の粉塵や運転音から身体を守るため、防塵メガネ(ゴーグル)、耳栓(イヤマフ)、防塵マスクをお使いになるようお勧めします。危険ですので裾じまりの悪い衣服や裸足、サンダル、草履ばきでの作業はしないでください。
- 吸気孔に吸い込まれるような服装、宝飾品などは身に付けしないでください。長い髪は束ねるなどして、吸気孔に吸い込まれないようにしてください。



■ 運搬時の注意事項

- 運搬中の衝撃で燃料や薬剤が漏れ出す恐れがありますので、タンクに薬剤や燃料を入れたまま運搬しないでください。
- 車両で運搬する時は、機体を立ててロープなどで荷台に確実に固定してください。危険ですので自転車やバイクでの運搬はしないでください。
- 事故やけがに備え、次の用具を携行してください。
 - ① 救急箱
 - ② 止血道具(タオル・手ぬぐい等)

■ 燃料に関する注意事項

- 本製品のエンジンは、引火しやすいガソリンを含む「混合ガソリン」を燃料としています。



焼却炉、バーナー、たき火、かまど、電気スパーク、溶接火花など、引火の恐れがある場所では、燃料の補給をしたり燃料容器を保管したりしないでください。

- くわえタバコでの作業や燃料補給は危険です。絶対にしないでください。




- 燃料の補給や保管容器への注入作業は屋外の平坦な場所で行ってください。通気の悪い屋内で給油作業をすると気化した燃料に引火する恐れがあります。
- 使用中に給油する場合は、必ずエンジンを停止し、周囲に火気がないことを確かめてから燃料を補給してください。
- 給油時に燃料がこぼれた場合は、エンジンをかける前に、機体に付着した燃料を完全にふき取ってください。
- 給油後は、燃料容器を密閉し、燃料タンクのキャップを確実に締めてから、3m以上離れた場所でエンジンを始動してください。





正しくお使いいただくために

■ 使用時の注意事項

- エンジンをかける前に機体各部を点検し、ネジ類のゆるみやカバー類の破損、燃料漏れ、操作部の作動不良等の異常が発見された場合は使用を中止して完全に整備してください。
- 作業前に現場内および周辺の状態をよく確かめ、作業区域内に人や車が進入する恐れがある場合は、適切な方法で立ち入り禁止措置を講じてください。また、区域内の傷つきやすい物は移動するか覆いをしてください。
- 作業中は周囲の人と **15m** 以上の距離を保ち、子供や動物は作業現場から遠ざけてください。
- 不測の事故や火災の危険がありますので、エンジンをかけたままブロワの吹き出し口を周囲の人やタキ火、焼却炉、ストーブ、カマド等に絶対に向けないでください。
- 作業の途中で休憩や燃料補給、機体の点検などをする場合は必ずエンジンを停止してください。
- 電気ショックを受ける可能性がありますので、エンジン運転中はスパークプラグやコードに触れないでください。
- 高温によるやけどの恐れがありますので、エンジン運転中および停止後エンジンが冷えるまでは、マフラ、マフラカバー、シリンダ、スパークプラグなどの高温部に触れないでください。

■ 整備上の注意事項

- この取扱説明書では、製品の機能維持に必要な整備について説明しています。製品の機能を維持するため、定期的に本書記載の点検整備を実施してください。本書に記載されていない整備が必要な場合は、お買い上げ店または最寄りのゼノア製品取扱店にご相談ください。
- 点検整備時は、必ずエンジンを停止してください。
- 送風機の吸気孔ガードを取り外して運転しないでください。高速回転する送風ファンに触れる恐れがあり、非常に危険です。
- 送風機やエンジンの分解・改造等しないでください。正常な操作ができなくなったり、運転中に機体が破損し、重大な事故を招く危険があります。
- エンジン停止直後は、素手でマフラ、マフラカバー、シリンダ、スパークプラグなどの高温部に触れないでください。高温のためやけどの危険があります。
- 交換用部品はゼノア純正品またはゼノア指定銘柄品を使用してください。



正しくお使いいただくために

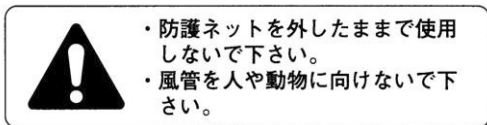
■ 警告ラベルとその取扱い

本機には次の警告ラベルが貼ってあります。よくお読みになって理解した上で作業してください。

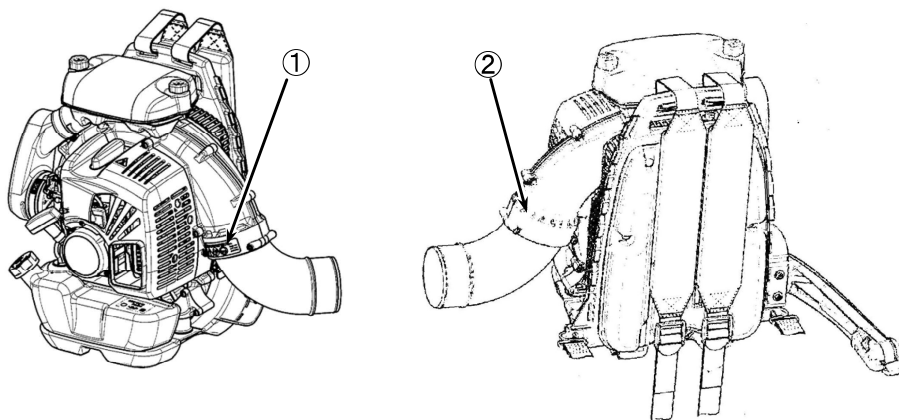
① 品番 8488X10070



② 品番 T405232610



【貼付位置】



【ラベルのメンテナンス】

- (1) 警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
- (2) 警告ラベルが汚損したりはがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。
- (3) 新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

サービスと保証について

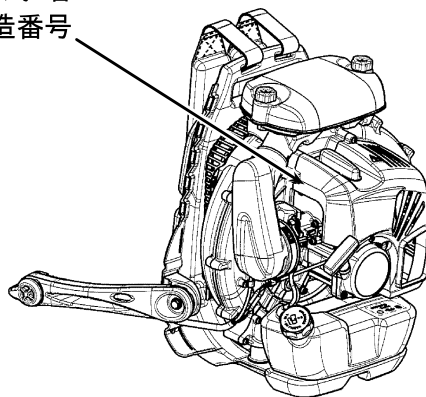
ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご用命は、お買い上げいただいた販売店で承ります。

お問い合わせの際は型式名と製造番号(下図参照)をご連絡ください。

製品・技術・その他に関してお気付きの点やご意見等ありましたらお気軽に弊社営業窓口(裏表紙記載)にお寄せください。

型式名
製造番号



保証書について

本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日・型式名・製造番号」の記入押印をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容を良くお読みのあと大切に保管してください。

補給部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は製造打切後8年です。ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

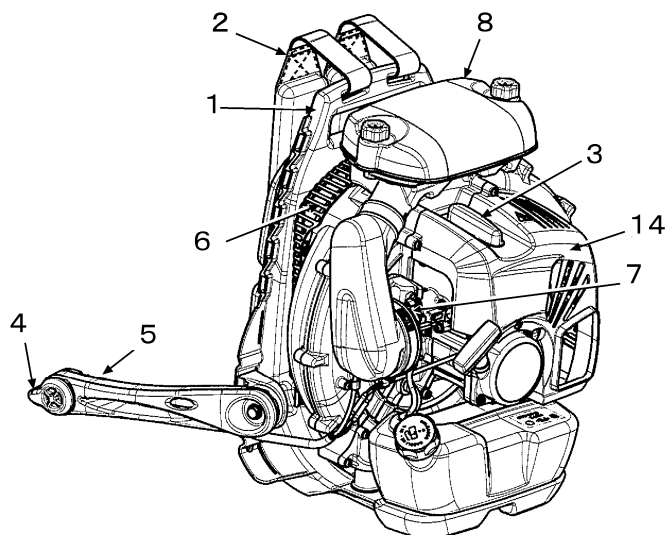
補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。



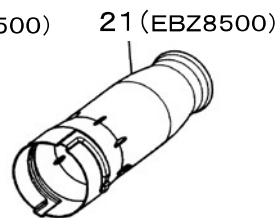
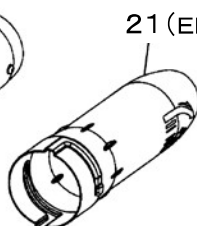
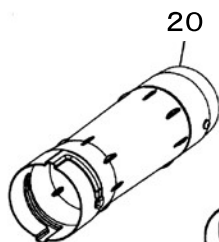
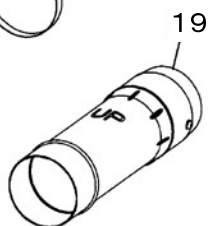
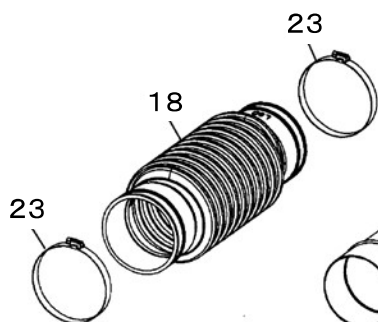
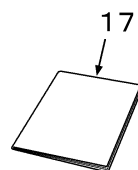
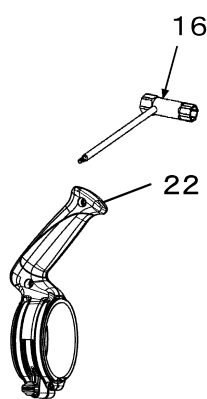
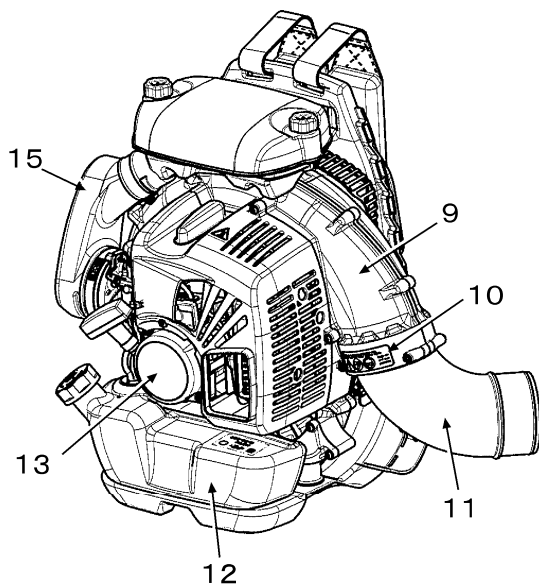
警告

機械の改造は危険ですので、改造しないでください。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

各部の名称

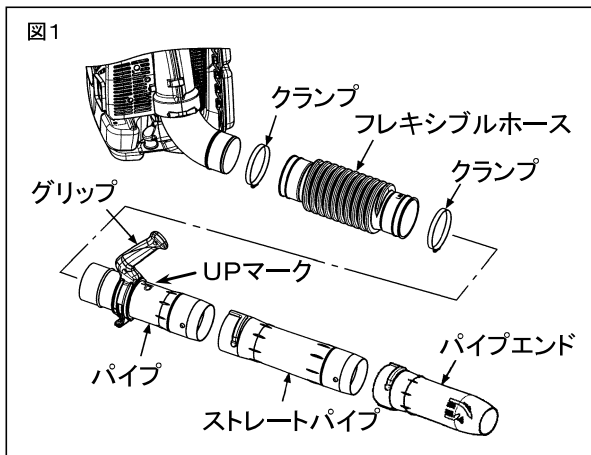


1. フレーム
2. 背負いベルト
3. プラグキャップ
4. スロットルレバー
5. エンジンスイッチ
6. 吸気網
7. チョークレバー
8. エアクリーナ
9. ボリュートケース
10. コーションラベル
11. エルボ
12. 燃料タンク
13. リコイルスタータ
14. エンジンカバー
15. 吸気ホース
16. ツール(ソケット)
17. 取扱説明書
18. フレキシブルホース
19. パイプ
20. ストレートパイプ
21. パイプエンド
22. グリップ
23. クランプ(x2)

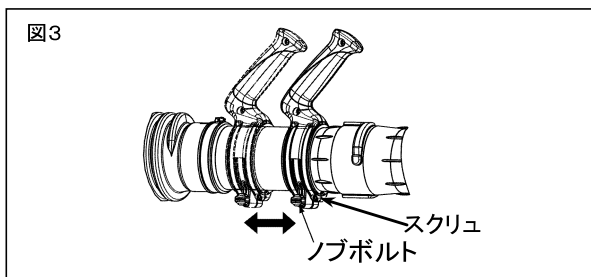
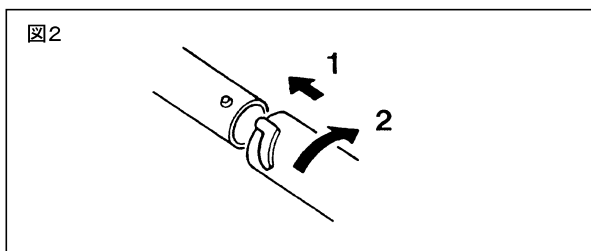


組立

■ブロウパイプの取り付け

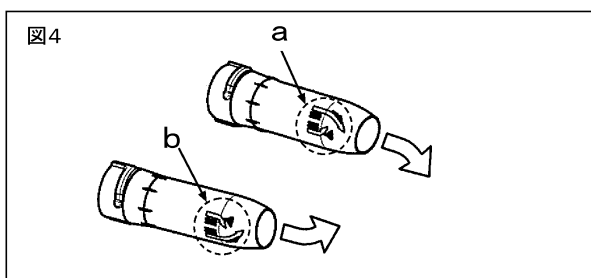


1. 送風機とパイプ、フレキシブルホースを接続します。付属のフレキシブルホースにクランプをはめてから、ホースを送風機のエルボ部に取り付け、クランプで確実に締め付けてください。(図1)
2. グリップのノブボルト及びスクリュー(図3参照)を外してから、パイプの送風機側からグリップをパイプにはめスクリューを締め付けてノブボルトをグリップに固定します。(図1)
3. パイプの「UP」マークを上にしてパイプを取り付けてください。(図1)
4. パイプの突起とストレートパイプの溝を合わせ、押し込んでから止まるまでねじってください。ストレートパイプとパイプエンドも同様に取り付けます。(図2)
5. パイプが入りにくい場合は、パイプにグリースを塗ってください。



■グリップ

グリップの位置は、手でグリップの「ノブボルト」を緩めることによって、前後に調節可能です。(図3)



■パイプエンド

パイプエンドは、2方向に「ストレートパイプ」に接続することができます。[EBZ7500のみ](図4)

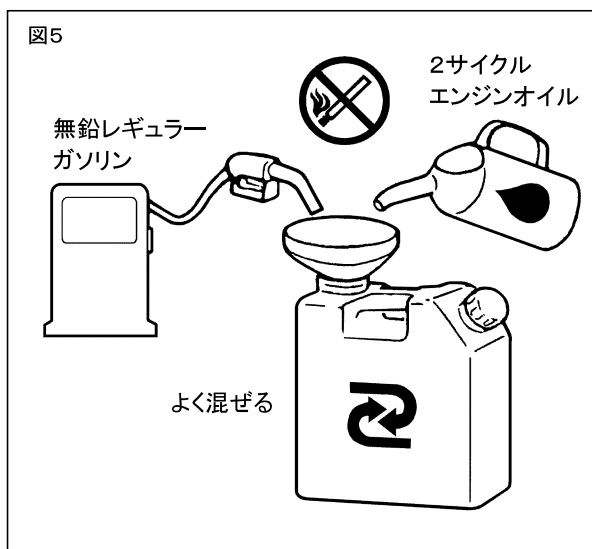
- a : 軽く感じます。
- b : 強く感じます。

燃 料

<p>危険</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃料は非常に引火しやすいため取扱いを誤ると火災事故の原因となります。また、気化した燃料は爆発して死傷事故を起こす恐れがあります。 ● 燃料の混合時は必ず火気を遠ざけ、タバコは吸わないでください。 ● 混合作業は屋外で行ってください。 ● 機体や燃料容器を、たき火やバーナーなどの火気の近くに放置しないでください。
------------------	---

<p>警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃料タンクキャップを開ける前に製品および補給用タンクを地面に置くなどして、帯電している静電気を除去してください。 ● 燃料補給時に金属製の漏斗を使用しないでください。静電気が燃料に放電して火災の原因となります。 ● 燃料タンクキャップを開けるときはゆっくりと開けて、タンク内の圧力を逃がしてください。 ● 燃料パイプ、燃料グロメット、燃料タンク周辺から漏れやにじみがある場合は、直ちに使用をやめ、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。 ● 補給用燃料は、火気のない日陰に置いてください。 ● 余った燃料は、金属製のガソリン携行缶で保管してください。 ● 燃料を運搬する際は、金属製のガソリン携行缶を使用してください。
------------------	---

<p>重要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● オイルが混合されていないガソリン(生ガソリン)を使うとエンジンが焼き付きます。給油時は燃料が正しいか確かめてください。 ● 燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、始動不良や出力不足などの原因になります。混合した燃料は、30日以内を目安に使い切るようにしてください。 ● 水が混入した燃料を使うと、キャブレタやエンジンの内部が腐食します。機体や燃料容器に水がかからないようにしてください。 ● 4サイクルエンジン用オイルは使わないでください。スパークプラグ汚損やピストンリング固着、マフラ詰まりなどを起こしやすくなります。 ● エンジン不調の原因となりますので指定外のオイルや混合比で使用しないでください。
------------------	--



燃料は、自動車用無鉛ガソリンと空冷2サイクルエンジン用オイルを下記割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものを使用してください。

〔混合比〕

□ゼノア純正2サイクルオイル(FD級)使用時

.....50:1
(ガソリン 1L に対しオイル 20mL)

もしくは、JASO性能分類FD級のオイルを50:1の比率でよく混合してください。

給油



危険

- 燃料タンクへの給油は屋外の平坦な場所で行ってください。給油時は火気を遠ざけタバコは消してください。
- 作業の途中で給油する場合は、必ずエンジンを停止し、冷えてから行ってください。
- 燃料キャップは確実に締め付けてください。
- 給油時にこぼれた燃料はエンジンを始動する前に布でよくふき取ってください。

重要

燃料タンクへの給油量は、8分目を目安にしてください。
燃料を入れ過ぎると、運転時にタンクキャップから燃料がもれる恐れがあります。

1. 給油する機体を屋外の平坦な場所に置き、安定させてください。
2. 燃料タンクのキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除いてください。
3. 燃料タンクのキャップを取り外し、8分目を目安に少しずつ給油してください。
4. 給油が終わったらタンクキャップを確実に締め付けて、燃料漏れのないことを確認してください。

— ゼノア純正 ビッグバンガソリン —

ゼノア純正混合ガソリン「ビッグバンガソリン」は、運転休止期間の長いエンジン機器用に開発された2サイクルエンジン専用の混合燃料です。

◎変質しにくい特殊ガソリンの採用でキャブ詰まり追放

◎エンジン内部を摩耗や汚れから守り、排気をきれいにする各種添加剤配合

◎混合の手間不要

◎給油・持ち運び・保管に便利な金属容器入り

などのすぐれた特長を持っており、運転休止の直前にお使いになるだけで運転再開時のエンジントラブル予防効果を発揮します。

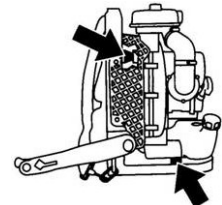
詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

エンジンのかけかた

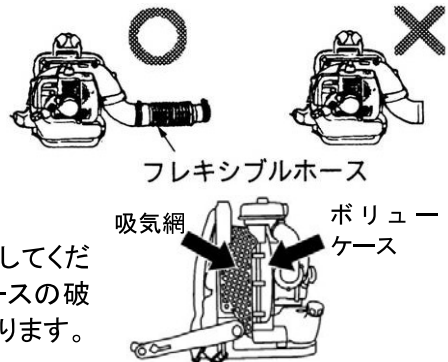
<p>危険</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃料の補給後エンジンを始動する場合は、機械を給油した場所から3m以上離れた場所に移してから始動してください。 給油した場所で始動すると引火による火災の恐れがあります。 ● 室内や換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。 人体に有害な一酸化炭素中毒の恐れがあります。
------------------	--

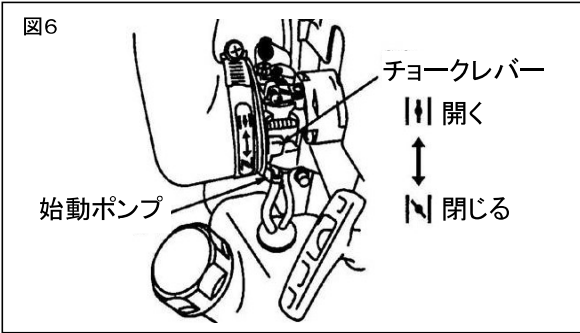
<p>警告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● エンジンの始動、停止時、移動時は常にスロットルレバーをアイドル位置にしてください。 ● エンジン停止時、移動時には必ずストップスイッチを「停止」側にしてください。
------------------	--

<p>注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 給油時にこぼれた燃料は、エンジンを始動する前に布で確実にふき取ってからエンジンを始動してください。 ● 始動前に機体各部を点検し、ネジのゆるみやスロットルレバーの作動不良、燃料漏れなどの異常がないことを確かめてください。 ● 感電によるショックを受けることがありますので運転中はスパークプラグやプラグコードに手を触れないでください。 ● 始動と同時にパイプエンドから強い風が吹き出しますので、エンジン始動時はパイプエンドの前方に人がいないことを確かめてください。 ● 防振ゴムやスプリングにクラックなどのダメージがないことを確認してください。ダメージが見つかった場合は部品を交換してください。これらの部品が壊れると作業中にエンジンがフレームからはずれて落下し、怪我をする恐れがあります。 ● 高温によるやけどの恐れがありますので、エンジン運転中および停止後エンジンが冷えるまでは、マフラ、マフラカバー、シリンダ、スパークプラグなどの高温部に触れないでください。
------------------	---



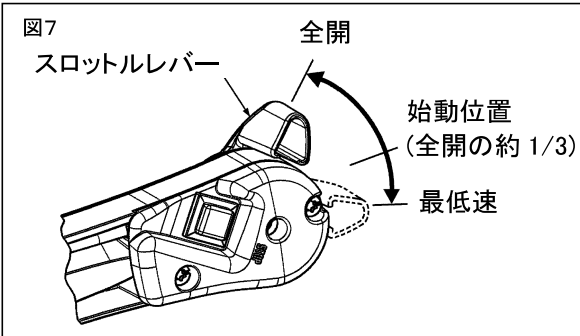
<p>重要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転時はフレキシブルホースを送風機に接続してからエンジンをかけてください。ホースを付けずに運転を続けるとエンジンの冷却風が不足してピストン焼き付きなどの故障を招くことがあります。 ● エンジンをかける前に、ポリウレタンケースや吸気網の内側に異物がないことを確認してください。異物があるとファンやポリウレタンケースの破損につながり、重大な怪我を負う恐れがあります。
------------------	--





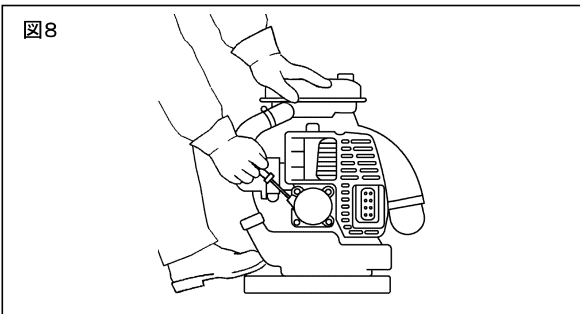
1. 燃料タンクに燃料を入れキャップをしっかり閉めてください。
2. 燃料が透明パイプを通してタンクに戻り始めるまで、始動ポンプを指で押して離す操作を繰り返してください。

補足 タンクに燃料が残っている状態でエンジン停止直後に再始動する場合にはポンプ操作は必要ありません。



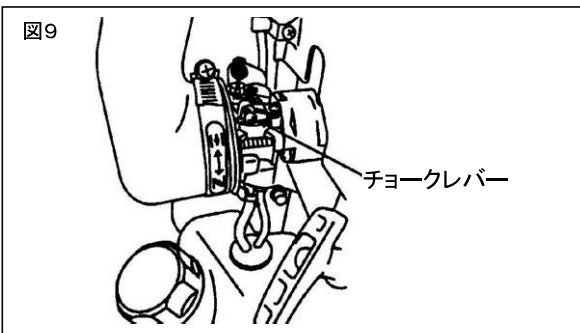
3. チョークレバーを下げ、「閉」の位置にセットしてください。

補足 エンジン停止直後に再始動する場合はチョーク開いたままスタータロープを引いてください。



4. スロットルレバーを始動位置(全開の約 1/3)にセットしてください。
機体を安定させてから左手でエアクリーナを押さえ、右手でスタータノブを引いてください。スタータノブを始めは軽く引き出し、重くなったら力をこめて素早く引いてください。

重要 スタータ故障の原因となりますので、ロープを一気に全部引き出したり、ノブから手を離して戻したりしないでください。



5. エンジンが始動したらチョークレバーを徐々に上げて2～3分低速で暖機運転してください。

重要 チョークレバーを「閉」にしたままロープを引き続けるとスパークプラグが濡れてエンジンがかからなくなることがあります。このような場合は、チョークレバーを「開」にしてからスタータロープを繰り返し引くか、スパークプラグをいったん取り外して電極を乾かしてから操作をやり直してください。

エンジンのとめかた

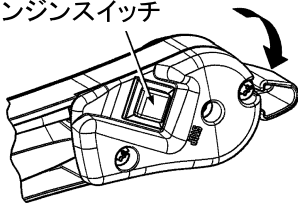


注意

- 緊急時は直ちにエンジンの停止操作をしてください。
- 高温によるやけどの恐れがありますので、停止後エンジンが冷えるまでは、マフラ、マフラカバー、シリンダ、スパークプラグなどの高温部に触れないでください。

図10

エンジンスイッチ



1. スロットルレバーを「最低速」位置にして1～2分間冷却運転をしてください。
2. アーム内側のエンジンスイッチ(赤色)を一度押してください。

使用方法

■ 一般的注意事項



警告

- 運転中エンジンは高温になります。また、素手で触れられる温度でも長時間接触しているとやけどをする恐れがあります。作業中に衣服の上からでも肘など身体がエンジンに当たらないよう正しい姿勢で作業してください。
- 周囲の環境に注意してください。
 - ・ 自分の作業エリアに他の作業者が近づいてきたら、安全な距離が確保できるまでスロットルをアイドル位置に保ってください。
 - ・ 人、動物、遊び場、開いた窓や車などにブロワを向けないようにしてください。
 - ・ 子供や動物など、作業員以外は15m以内の作業エリアに入らないようにしてください。また、誰かが近づいたら、すぐにエンジンを停止してください。
- 石やゴミなどの飛散物が目に入り、失明する恐れがあります。必ず防塵メガネを着用してください。



注意

- 使用時は、本書の「正しくお使いいただくために」(1～4ページ)記載の注意事項を守って正しく操作してください。
- 万一の事故の時に助けを求められないような状況では、本気を使用しないでください。

■ ブロー作業

警告	エンジンカバーの排気出口が、壁などの遮蔽物でふさがれる状態では運転しないでください。熱がこもることで機械が損傷する可能性があります。運転中、排気出口は遮蔽物から50cm 離れて使用してください。
-----------	---

注意	<ul style="list-style-type: none">●道路や広場、駐車場など、人や車の往来がある場所で作業する時は、作業区域の周囲を保安バリケードで囲むなどの事故防止措置を講じてください。●ハンゴや屋根など、安定した姿勢の確保が困難な場所では使用しないでください。●吹き飛ばされたゴミで傷ついたり、風で倒れて破損したりする恐れのある物はあらかじめ移動するか、適切な覆いをしてください。
-----------	--

重要	ブロワの使用にあたっては、周囲の迷惑を考え、深夜や早朝の時間帯は避けてください。同時に使用するブロワの数を制限して騒音レベルを抑えてください。
-----------	---

図11



- 背負いバンドは、ブロワ本体を背負ったとき作業しやすい長さに調整してください。
- 風力は、現場の条件に合わせてスロットルレバーで適切な強さに調節しながら作業してください。
- ゴミを一箇所に集める場合は、地形や風向きを考え、上方から下方へ、風上から風下へ、を基本に作業経路を設定してください。

■ 背負いバンドの調整

図12



締め付け

- 背負いバンドの端を引いて締め付けてください。

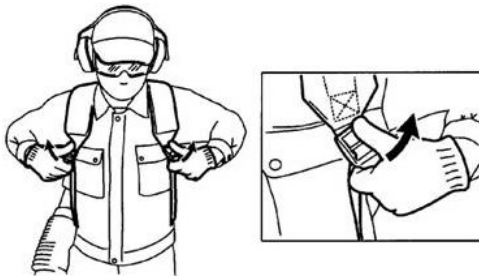
図13



緩める

- バックルの端を引き上げ、背負いバンドをスライドさせながら緩めます。

図14



緊急離脱

- 緊急の場合は、両側のバックルの端を同時に引き上げると機体が身体から外れます。

点 検 整 備



注 意

- 点検整備時は必ずエンジンを停止してください。
- 機体の改造やエンジンの分解はしないでください。事故や重大な人身事故を招く恐れがあります。
製品の改造が原因で故障した場合は、弊社保証の対象外となります。
- マフラの整備が必要な場合は、販売店にご相談ください。整備方法を誤ると運転中に高温の排気ガスが吹き出す危険があります。
- 部品交換時はゼノア純正部品または指定品を使用してください。
- ご自身で点検整備できない場合は、お買い上げ店に依頼してください。

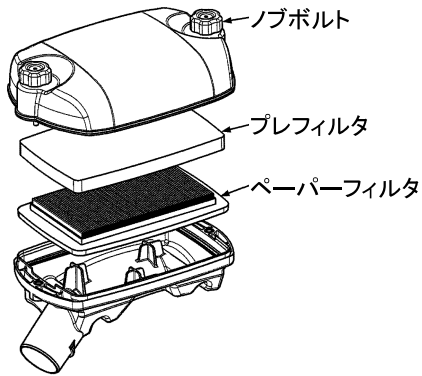
■ 定期点検

下記の使用時間毎に点検を行ってください。

点 検 整 備 項 目	使 用 時 間				備 考
	日常点検	25時間	50時間	100時間	
プレフィルタの清掃	○				
ペーパーフィルタの点検・交換			○		
燃料漏れの確認	○				
燃料フィルタの点検		○			
スパークプラグの点検清掃と調整		○			スキマ 0.6～0.7mm
マフラの点検とカーボン落とし				○	
スパークアレスタの清掃			○		
マフラボルトの増締め	○				
エンジン各部の増締め				○	
シリンダフィンのゴミ除去		○			

■ エアクリーナ

図15



1日の作業が終わったら、エアクリーナカバーを取り外してプレフィルタの汚れ具合を点検し、汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯でいいねいに洗い、よく乾燥させてから元通り取り付けてください。ペーパーフィルタの汚れがひどい場合は交換してください。プレフィルタおよびペーパーフィルタが変形・破損した場合は新品と交換してください。

重要1 プレフィルタおよびペーパーフィルタが詰まるとエンジン性能が低下します。また、プレフィルタおよびペーパーフィルタをはずして運転したり、変形・破損したプレフィルタまたはペーパーフィルタを付けて運転し続けるとエンジン内部が異常摩耗します。

重要2 エアクリーナカバーを取り付けた後、手で軽く動かしてはずれないことを確かめてください。取り付けが不完全ですと使用中にカバーが外れてプレフィルタおよびペーパーフィルタが脱落、紛失することがあります。

補足

- ・ プレフィルタを組み付け時にペーパーフィルタの付け忘れに注意してください。
- ・ プレフィルタは、ドライタイプです。オイルを塗布したり、油性洗剤で洗わないでください。
- ・ たたいてペーパーフィルタを清掃しないでください。破損の原因となります。

■ 燃料フィルタ

図16




使用25時間毎を目安に燃料タンクから燃料フィルタを取り出して点検し、付着したゴミを取り除いてください。

フィルタが目詰まりしている場合は新品と交換してください。(品番: 330285400)

燃料フィルタをタンクに戻す際は燃料パイプが折れ曲がらないように注意してください。

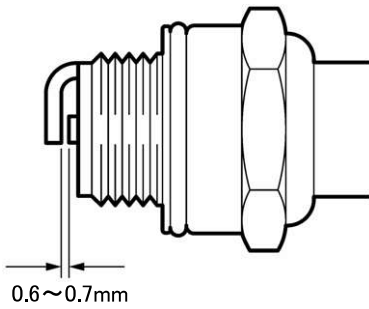
重要 燃料フィルタが詰まったり燃料パイプが折れ曲がっていると、エンジン回転数が上がらなかったり回転変動を起こしたりします。

■ スパークプラグ

 注意	エンジン停止直後は素手でスパークプラグにさわらないでください。 高温のためやけどを負う恐れがあります。
---	--

重要	<ul style="list-style-type: none"> ● スパークプラグの締め付けが強過ぎるとシリンダのネジ部が破損することがあります。プラグ締め付け時は必ず付属のプラグレンチを使用してください。 ● 燃料を吸い込み過ぎたり、オイルの質が悪かったりするとスパークプラグの電極が汚れ、エンジンがかかりにくくなることがあります。 ● プラグ交換時は指定品を使用してください。 指定外品を使用するとシリンダやピストンが破損することがあります。
-----------	---

図17



使用25時間毎を目安にスパークプラグを取り外して電極の汚れをワイヤブラシなどで取り除いてください。

電極隙間は、0.6～0.7mmが適当です。

プラグ交換時は指定品をお使いください。

指定スパークプラグ

NGK CMR7H

■ エンジンの調整

エンジンは工場出荷時に調整されていますが、運転条件の変化(エンジンのなじみ、高地使用等)により再調整が必要と思われる場合は、以下の手順で調整してください。調整しても改善しない場合は他の原因が考えられますのでお買い上げ店にご相談ください。

アイドル調整スクリュー

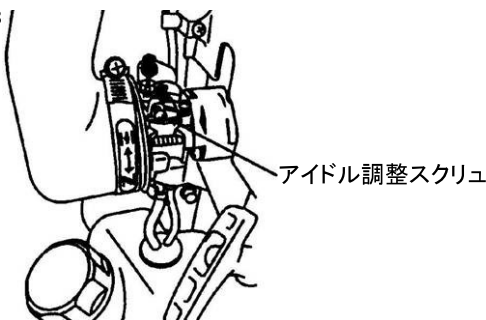
運転中スロットルレバーを完全に下げた位置にしたとき、エンジンが止まってしまうたり、逆にエンジン回転が高過ぎるような場合は、アイドル調整スクリューを再調整してください。

【調整方法】

エンジンをかけ、2～3分中速で暖機運転した後、スロットルレバーを完全に下げた位置にしてからアイドル調整スクリューをマイナスイライバで回してください。

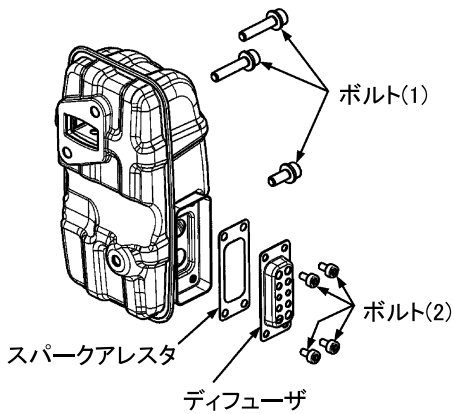
スクリューを右に回すとエンジン回転が上がり、左に回すとエンジン回転が下がります。

図18



■ マフラ

図19



定期的マフラを点検し、止めねじのゆるみ、損傷、錆の有無を確認してください。排気ガス漏れが見つかったときは、本ブロワ（送風機）の使用をやめ、直ちに修理の依頼をしてください。

重要 始動開始前には必ず、マフラが3本のボルト(1)でシリンダにしっかり取り付けられていることを確認してください。

ボルト(1)

締め付けトルク 8～12N・m (80～120kg・cm)

また、スパークアレスタとディフューザが4本のボルト(2)でしっかり取り付けられていることを確認してください。

ボルト(2)

締め付けトルク 2～3N・m (20～30kg・cm)

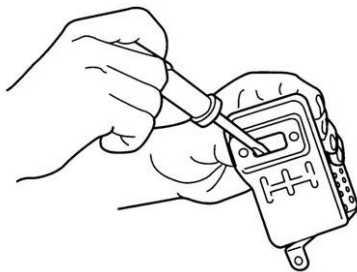
締め付けが不完全な場合、運転中にマフラがゆるみ、エンジン火災の原因になることがあります。

スパークアレスタ

焼けたカーボンがマフラテールから排出されるのを防ぐためにスパークアレスタが装着されています。ワイヤブラシなどで定期的に清掃し、カーボンを取り除いてください。

■ 100時間使用毎の手入れ

図20



1. マフラを外して、排気口にドライバを入れてカーボンを落してください。同時にマフラ出口のカーボンも落してください。
2. 各締め付け部の増締めを行なってください。

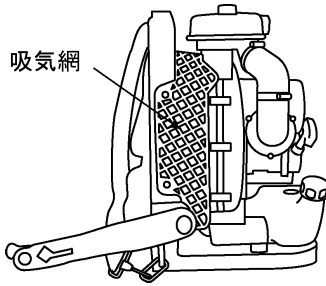
■ 吸気網



危険



吸気網をはずしたままは絶対にブロワを使わないでください。始動前には吸気網が正しく取り付けられ、損傷していないことを確認してください。

図21



- 送風用の空気は吸気網を通じて取り入れられます。使用中に送風量が減ったときは、エンジンを止め、吸気網がごみなどで目詰まりしていないか点検してください。
- こうしたごみをそのままにしておくと、エンジンが過熱して損傷する恐れがあります。

■ 長期保管時の手入れ


 危険	引火による火災の恐れがあります。 <ul style="list-style-type: none">● 燃料抜き取り時は、火気を遠ざけてください。● 燃料をこぼさないように注意し、こぼれた燃料は完全にふき取ってください。
 注意	保管する場合は下記の点に注意してください。 <ul style="list-style-type: none">● 屋外放置を避けること。● 夏場の高温になる車内への放置を避けること。● 子供の手の届かない場所を選ぶこと。
重要	<ul style="list-style-type: none">● 長期間(2ヵ月以上)使用しない場合は、燃料タンクとキャブレタから燃料を抜いてください。燃料を入れたまま長期間放置すると燃料が変質してキャブレタ内部が詰まり、エンジン故障(始動不良や出力不足)の原因となります。● 保管時は、燃料タンクのキャップをゆるめにしてください。強く締め過ぎると経時変化によりパッキンが変形することがあります。

1. 機体の汚れを落としながら、各部の損傷やゆるみなどの有無を点検し、異常が発見された箇所は次の使用に備え完全に整備してください。
2. 燃料タンクから燃料を抜き取ってください。
3. キャブレタの始動ポンプを燃料が出なくなるまで押し、配管通路内の燃料を燃料タンクに戻してください。
4. もう一度、燃料タンクから燃料を抜き取ってください。
5. エンジンをかけ、自然に止まるまで運転してください。
6. スパークプラグを取り外し、2サイクルオイルを1～2 mL エンジン内に入れてください。スタータロープを2～3回引いてからプラグを元通り取り付け、圧縮位置で止めてください。
7. スロットルワイヤなどの金属部に防錆油を塗った後、屋内の火気や湿気のない場所に、シート等をかけて保管してください。

故障のときは

現象	主な原因	処置
エンジンが始動しない	・ 燃料不良(異質、劣化)	・ 正規燃料と交換(8, 9頁)
	・ 燃料吸い込み過ぎ	・ チョークを開き、スロットルを全開にしてロープを繰り返し引く(10, 11頁)
	・ マフラ排気出口詰まり	・ 詰まり除去(18頁)
	・ スパークプラグ電極汚損、短絡、断線	・ 電極清掃またはプラグ交換(17頁☆)
停止スイッチを操作してもエンジンが止まらない	・ スイッチコード接続不良、断線	・ 確実に接続する、または交換
エンジンが加速しない	・ 燃料不良(異質、劣化)	・ 正規燃料と交換(8, 9頁)
	・ マフラ排気口詰まり	・ マフラ清掃(18頁)
スロットルを戻すとエンストする	・ アイドリング回転数が低すぎる	・ 再調整(17頁)
エンジンの回転が変動する	・ 燃料フィルタ目詰まり	・ 燃料フィルタ清掃または交換(16頁☆)
燃費悪化	・ エアクリーナ目詰まり	・ エアクリーナ清掃(16頁)

- ・ 上記処置を講じても現象が改善しない場合や、上記以外の不調現象が生じた場合は、お買い上げ店にご相談ください。
- ・ ☆印のついている処置につきましては、お買い上げ店で純正部品をお求めください。

 危険	<ul style="list-style-type: none"> ● 機械の改造や分解等はしないでください。運転時に機体が破損したり、燃料漏れや作動不良による不測の事故を招く恐れがあります。 ● 点検処置時はタバコなどの火気を遠ざけてください。燃料に引火する恐れがあります。 ● 機体各部の締結部品(ボルト、ナット、ネジ類)は必ず純正品または指定品を使用してください。規格外品を使用すると、使用中に機体が破損したり部品が脱落したりして不測の事故を招く恐れがあります。
---	--

製品主要諸元

名称・型式		ゼノアエンジンブロワ		
		EBZ7500	EBZ8500	
本体質量※1	kg	10.6(9.6)	11.2(10.2)	
本体外形寸法※1 (全長×全幅×全高)	mm	354×536×499	357×535×540	
燃料タンク容量	L	2.1	2.3	
送風機	使用回転数	rpm	2000~7250	
	平均風量※2	m ³ /分	21.8	25.7
	最大風速※2	m/秒	105.6	92.2
エンジン	形式	単気筒空冷2サイクルガソリンエンジン		
	排気量	cm ³	65.6	75.6
	使用燃料	潤滑油混合ガソリン		
	使用潤滑油	2サイクルエンジン専用オイル		
	混合比	ゼノア純正オイル(FD級)使用時 50:1		
	キャブレタ	ダイヤフラム、ロータリバルブ式		
	点火方式	電子制御フライホイールマグネト(CDI方式)		
	スパークプラグ	NGK CMR7H(電波障害防止型)		
	始動方式	リコイルスタータ式		
停止方式	点火回路一次側短絡式(押しボタン)			

(※1) 燃料を除く。()内は、フレキシブルホース、風管類を外した重量

(※2) 風管出口部

改良などにより商品の細部仕様が本書記載内容と異なることがあります。予めご了承ください。



修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社 営業企画部



0570-084987

月～金/9:00～17:00(土日祝、弊社指定休業日は除く)

<http://www.zenoah.co.jp/>

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社: 〒350-1165 埼玉県川越市南台1-9

(平成 29 年 7 月現在)

115767879(E2/A1707) PRINTED IN JAPAN